

Dreams Come True.

馬術部 全国制覇!

令和5年8月9日～10日、ノーザンホースパーク(北海道苫小牧市)で行われた、第34回全日本高等学校馬術選手権大会において、本校地2年生の三村大河くんが初優勝を成し遂げ、全国の高校生ライダーのトップに輝きました。同じ2年生の楠原颯馬くんも4位に入賞し、全国に蒜山校地馬術部の名前を轟かせました。

決勝戦、先に行われた馬場馬術種目で優位に立ったものの、障害飛越で一本でも落下させると2位に終わるといふ、緊張感にあふれた場面で、三村くんは大胆かつ勇敢に、貸与馬であるコーネル号を乗りこなし、ノーミスでゴールラインを切って喜びを爆発させました。

来年のこの大会には、シード選手として出場が決まった三村くんですが、「連覇した選手は今まで誰もいない」というジンクスは、今年も破られませんでした。そして、昨年優勝した本間駿名選手(北海道静内高校3年)の、連覇の夢を阻んだのは、4位に入賞した蒜山校地の楠原くんでした。

準々決勝戦の障害飛越、本間選手のタイムを上回らなければ、敗退が決まってしまう。その緊迫した場面で、楠原くんはコースを果敢に攻め、出場選手中の最速タイムを叩き出して、チャンピオンを破りました。

三村くん・楠原くん共に、馬術連盟の強化指定選手として、「Team Japan」の一員になりました。今後の活躍に期待しましょう!



2年次生 三村大河くん 初優勝
2年次生 楠原颯馬くん 4位入賞



団体戦でも3位に入賞!(初入賞)

2年・山下さん・楠原くん、三村くん、1年・谷口くん

第57回全日本高等学校馬術競技大会(団体戦)でも、蒜山校地馬術部は全国3位になりました。

7月25日に実施された、1回戦第1試合 水戸農業高校(-264) 福島東稜高校(-330) 勝山高校蒜山校地(-31) 他校が相次いで落馬する中、2年生の二人は安定した走りを見せ、最後に騎乗した1年生の谷口日向くんも完走し、2回戦に進出。

7月26日に実施された2回戦第1試合 本庄高校(-19) 勝山蒜山(-8) 玄海高校(-39) 2回戦から出場した2年山下智加さんも安定した走りを見せ、最小の失点で2回戦を突破しました。

準決勝の関東国際高校との試合では、接戦となったが、我が校の二本の障害落下に対し、関東国際は一本の落下に抑えたため、決勝進出は叶わず蒜校の第3位が確定しました。



勝山高校蒜山校地 学校新聞

ひるこう

タイムズ



第237号 R5. 8. 25

毎月25日発行

勝山高校蒜山校地探究・情報課

katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

蒜校生がりポート!

ひるこうタイムズ記者
(取材・撮影・記事執筆)
蒜山ABC部(文化部)

1年生:青木・古林

2年生:明村

3年生:牧田・木村

※ ●は生徒、●は教員担当の記事